

成果講演に関する質問と回答（メールお問い合わせ分）

題 目：医療用生体分解金属材料の分解挙動制御のための革新的評価試験法の開発

発表者：東北大学 今井啓道 （代理発表：相澤貴之）

（質問）

ゲルを用いた疑似組織を他の評価系にも使えるのではないかと思いました。

例えば、生分解性材料を数週間単位で埋植試験したり、人工腫瘍血管を導入して EPR 効果などはみれないものでしょうか。

（回答）

ご質問の通りと考えています。本評価系では、気体のみならず液体の拡散においても生体内環境を模擬できる可能性があるため、我々も広い適応範囲を考え現在開発しているところです